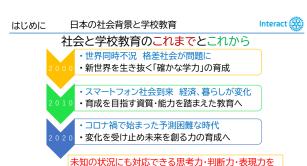
## 2600地区インターアクト活動について

2600地区インターアクト小委員会 委員長 小池晃(信州友愛 RC 所属)

#### 1 現状の教育より



急速に変化し続ける現代社会では、予測困難なことが 多く起こります。そのため答えがないことを探し続ける能力「みんな違ってみんないい」 そんな社会の実現のため に教育が必要であると思います。



始めとする資質・能力の育成

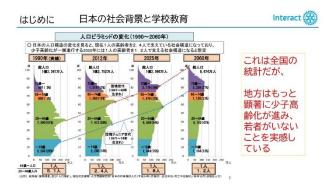
今までも社会背景に対応して、必要な資質・能力について 提示されてきました。

これからの日本や地域社会で活躍する生徒を育成する ためにも、従来の資質能力に加え、創造力も求められる時 代を迎えます。

そのためにも資質・能力を育成する様々なプログラムが必要なのです。



これは日経ビジネスに掲載された、「2040 年稼げる 職業」です。とくに社会課題に向き合うために、創造力を 必要とする仕事が多くなっています。今回の学習指導要 領で求められている資質能力や探究的な学び、学びを人 生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」 そのものこそ、生徒に身に着けてほしい資質・能力であり、 これからもしっかり育成していきたと思います。



1990年に18歳以下だった学生が、2025年には、社会の中核をなしている。この世代が今の親世代であり、子供たちの価値観のベースを作っている。(影響を受けている)

青少年奉仕活動では、青少年にアプローチするだけでなく、親世代も一緒に活動したり、共感してもらえる活動により、ロータリーへのイメージ向上や会員増強の一員となりうる。

また、地方ではより少子高齢化が進んでおり、ロータリークラブの合併や消滅、義務教育学校の統廃合・高校の統廃合が進んでいる。 奉仕の理想を持った青少年の育成は、地方にとって急務であると考えます。

## インターアクトクラブとは?



## インターアクトは、12歳から18歳までの 青少年のための国際ロータリーの奉仕クラブ

インターアクトは、<u>社会貢献やボランティア活動に関心</u>のある12歳~18歳の青少年を対象とした奉仕クラブで、地域社会や世界、また<mark>自分自身について学び、楽しみながら活動</mark>できます。

インターアクトクラブは、支援や指導を与えるロータリークラブが提唱して結成されますが、運営面でも経済的にも自立しています。

インターアクトクラブは少なくとも<mark>2つの社会奉仕プロジェクト</mark>を行い、そのうち<mark>1つは国際理解</mark>と親善を推進するものとされています。プロジェクトを通じて、インターアクターは地元社会や海外のクラブと友情のネットワークを築きます。

## インターアクトクラブとは?



**奉仕活動は、インターアクターの活動の真髄**です。 奉仕活動を行うことでインターアクターたちは 次のような大切なことを学びます。

- ① 指導力と人間としての高潔さ
- ② 他者を助け、他者を尊重すること
- ③ 個人の責任と懸命に努力することの価値
- ④ 国際理解と親善を推進すること

## インターアクトクラブとは?



ロータリーの奉仕の活動の中で最も顕著かつ急速に発展しているプログラムの1つであり、150以上国や地域にある16,203のクラブを擁するインターアクトは、世界的な現象となりました。

現在、372,784人の若者がインターアクトと関わりを持っています。 2025.2.14現在

2600地区の状況 12クラブ・220名(1・2・3年)

## 地区の役割とは?



#### ○委員会の目的・目標

#### 委員会の目的 ←

RI 及び地区ガバナー方針に沿った事業を実施し、ロータリーの青少年保護方針が 守られるよう研修と支援を行う。また各インターアクトクラブの活動を指導・支援 し、地域のリーダーとなれる青少年の育成を図る。

### 委員会の目標 ←

上記の目的を達成するために、各インターアクトクラブと下記の活動目標を共有する。 

↔

- 1. インターアクトの活動が多様性、公平さ、インクルージョン (DEI) を受容し、 行動で示し、<u>世界に通用する人権感覚</u>と他者理解を育成する。
- 2. 地元(提唱クラブなど)を知り、日本の文化伝統を学び、世界中の青少年と 交流できる知識と**人間力**を学びあう。↩
- 3. 理念や活動を理解してくれる仲間を増やし、学校や社会生活が充実したもの になるように、様々な世代と交流し人生を楽しむ。↩

## 地区の役割とは?



### ○今年度の計画・重点事業

一人ひとりのインターアクターが、世代を超えた交流により、DEI の実践と人間 力向上を図れるよう、研修会や合同行事にて指導・支援を行う。↩

- 防災学習を核とした地域の課題に着目し探究学習を通して交流を深める。
- インターアクト会長・幹事会の定例化と情報交換、SNS を活用した情報発信 および広報活動によるクラブ員の交流と増員を目指す。
- 3. 「四つのテスト」(①.真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか)に沿って、すべての人に対する安全、礼儀、尊厳、尊重を重んじるクラブと環境づくりを学ぶ。
- 4. 提唱クラブとの連携をより図るとともに、青少年交換委員会・ローターアクトクラブ・米山奨学生・ロータリー財団グローバル奨学生など、ロータリーの持つ国際的ネットワークを積極的に活用する。

## 地区の役割とは?



## ○委員会・事業日程←

年↩	月日↩	内容↩	場所↩
25↩	7.5(土)↩	第Ⅰ回地区チーム会議	松本市⑷
			商工会館↩
43	7.13(日) 🕘	第1回地区 IA 委員会↩	塩尻市↩
			総合文化センター
<del>←</del>	8.8(金) 🛭	夏合宿↩	塩尻市↩
			総合文化センター↩
₽	9.14(日)↩	第2回地区 IA 委員会および顧問教師連絡会(A	塩尻市↩
		<b>M)</b> ←	塩尻志学館高等学校
		PM 合同研修会⊖	
Ą	9.27(±) ←	第 36 回 RYLA←	上田市↩
			丸子 RC↩
<del>U</del>	11.16(日)⋳	2025-26 年度 RC地区大会 青少年アワー(A	松本市↩
		M) <i>←</i>	キッセイ文化ホール
<del>(</del> )	12.21(日)년	第3回地区 IA 委員会および顧問教師連絡会(A	塩尻市↩
		<b>M)</b> ←	塩尻志学館高等学校
		PM 合同研修会←	



<u> </u>			
26↩	1.11(日)↩	冬合宿(兼 国際交流研修セミナー) ロゲイニン	松本市↩
		2€	勤労者福祉センター↩
↩	2.8(日)∂	第 4 回地区 IA 委員会←	塩尻市↩
			総合文化センター(
↩	4.19(日)↩	インターアクト地区研修協議会↩	松本市↩
		第5回地区 IA 委員会&顧問教師連絡会△	勤労者福祉センター↩
↩	4.↩	第13回全国インターアクト研究会福島会議←	福島県↩
		顧問教師·Rt派遣予定↩	↩
↩	6.₽	インターアクト地区大会↔	4
		ホスト: 東海大学付属諏訪高等学校 🗸	
		スポンサークラブ:茅野RC←	
		第6回地区 IA 委員会&顧問教師連絡会(昼食	
		時) ↩	

このように、委員会活動とともに、小規模クラブが独自に活動できないこともあるため、当地区インターアクト委員会では、夏合宿と冬合宿を通して、生徒たちの交流会と活動を学ぶ研修を継続しています。

また、クラブアドバイザーである顧問教師との連絡会を開催し、提唱クラブおよび顧問教師との意思疎通にも地区が大きく関与しています。本来ならば地区委員会は、提唱クラブや各校インターアクトクラブのサポート役に徹することが、セオリーであるが、全体の活動底上げやクラブ間の交流を大切にするために、大きく関与している。今後は、各インターアクトクラブが自立できるように、応援していく次のステップに移行していきたい。

## 地区の役割とは?



## 未病を治す ニ 自己肯定感を高める

・チームワークと協力の重視 ・リーダーシップスキル ・問題解決のスキル ・他者貢献

RYLA (Rotary Youth Leadership Awards) リーダーシップスキルを磨く

奉仕の精神を育み、奉仕の機会へと導く

参加者が互いに繋がり、協力し合う機会

未来の担い手を育てる

#### IAC (インターアクトクラブ)

参加者の交流を深める

地域に役立つボランティア活動に参加

国際理解を目指す

リーダーシップスキルを磨く

## ロータリー精神:親睦を深め、奉仕の理念を実践

地域、家族を巻き込む形で、若者へ「繋がり奉仕する」喜びを伝える活動

ロータリアンとインターアクターは、相互に切磋琢磨し、お互いを高められるパートナーとなることが理想である。これからの日本を担う若者を育てるには、経験豊富なロータリアンの背中や言行が重要です。今後もお力をお貸しいただきたい。



## 若者とロータリーの未来のために

新鮮さ 好奇心 柔軟性 寛容さ



ニーズにマッチ 参加意欲 安心感 未来の担い手 **Z世代** 1996~2010年生 15-29歳

- ダイバーシティ&インクルージョンを受容
- 社会問題 (環境破壊、人種差別) への関心
- プライベート重視(自分の個性)

#### 時代に即したクラブづくり

金太郎曽は通用しない クラブの多様性、個性が選ばれる D日とクラブビション

淘汰の時代、生き残りの時代

## これまでのRC

閉鎖的 権威的 重厚感



開放的 受容的 躍動感

これからのRC

行動計画の推進 3-Year Rolling Goals

(DEIの) 行動規範

ますます価値観が多様化する高校生を中心とした Z 世代について、私たちは価値観が多様化し、変化していることに大きく感じていただくことが重要です。それは若手の社員の皆さんにも言えるかもしれません。インターアクターや青少年奉仕活動の活発なクラブの皆さんは実感していると思います。ぜひ一度、青少年にかかわる研修や危機管理意識について、アップデートしていただければ幸いです。

4 2600地区インターアクトの活動について紹介

2600地区(長野県) IAC



https://www.2600interact.club/

是非、上記の HP を訪問してみてください。生徒たちの活動の様子がわかるかと思います。

これら情報発信については、桑澤一郎 PDG が地区インターアクト委員長として活躍されていた頃に、 Facebook を始めとした SNS において活動を世界に発信してきました。この HP は、現当地区地区幹事 飯沼新吾 前インターアクト委員長のお力によるものです。



## 国際ロータリー第2600地区

## インターアクトクラブ

ようこそ国際ロータリー2600地区インターアクトクラブへ

世界に友だちを広げながらボランティア精神と国際感覚を身につける

#### インターアクトクラブって何だろう?



















2600地区(長野県) IACの活動









夏合宿(塩尻市総合文化C)







冬合宿(松本市勤労者福祉C)

## 2600地区(長野県) IACの活動









地区研修協議会



各インターアクトクラブが、スポンサークラブと相談して、 インターアクトクラブとの交流を主軸とした独自研修制度。

地区から必要資金の1/3が補助される。

例:①南安曇農業高等学校と松本工業高等学校 合同 台湾研修 (3泊4日)

②仙台高校IAC交流と東日本大震災防災研修

独自研修制度





台湾 地区IAC役員との交流



台湾 大学訪問 (教授 元米山奨学生による案内)

独自研修制度













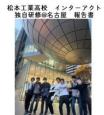


下伊那農業IAC志賀高原ユネスコパーク環境学



伊那西IAC 大阪研修

習プログラム 研修







須坂創成IAC







伊那西IAC·東海大学付属諏訪IAC



# ゼロベース (白紙) で考える 世代間には、通訳が必要 価値観を押し付けない あくまでも伴走者でありたい

2600地区のロータリアンの皆様には多大なるご支援を頂いていることに感謝申し上げます。

あづみ野 RC の故 木暮 PDG が、青少年育成基金を創設され、当時高校生であった私には、「好きなことを思いっきりやりなさい。やってみないとわからないから、まずは何でもやってみよう」と声掛け頂き、現在に至ります。誰に何をどのタイミングでお話いただくことの重要性を身をもって学びました。

皆様のご経験と見識を、極上の刺激として、日本や地域を背負って立つ若者に託しませんか? さらなるご協力をよろしくお願いいたします。